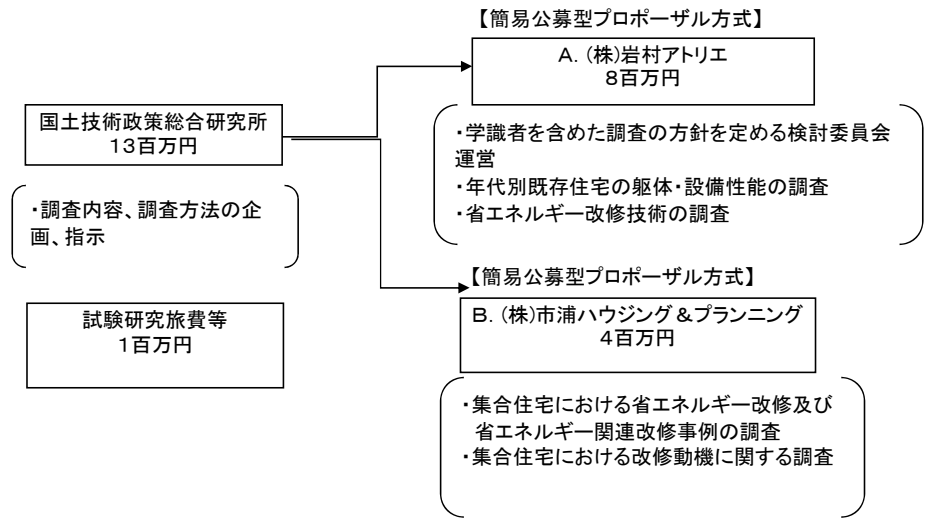


平成23年行政事業レビューシート (国土交通省)

<b>事業名</b>	住宅種別に応じたエネルギー消費性能評価法の開発		<b>担当部局庁</b>	国土技術政策総合研究所		<b>作成責任者</b>	
<b>事業開始・終了(予定)年度</b>	H22/H24		<b>担当課室</b>	住環境計画研究室		部長 大竹亮	
<b>会計区分</b>	一般会計		<b>施策名</b>	44 技術研究開発を推進する			
<b>根拠法令</b> (具体的な条項も記載)	平成21年経済産業省・国土交通省告示第2号		<b>関係する計画、通知等</b>	第3期科学技術基本計画(H18.3閣議決定) 国土交通省技術基本計画(H20.4)			
<b>事業の目的</b> (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	今後の省エネルギー施策のさらなる推進のためには、住宅の中でも新築住宅と比較して性能が低くエネルギー消費量が多い既存住宅ストックにも対策を講じることが喫緊の課題であることから、既存住宅における多様な住宅種別(戸建て・集合)を考慮し、改修方法に対応したエネルギー消費量に基づくエネルギー消費性能評価法を作成する。研究の成果は、省エネ法に基づく住宅の省エネルギー基準等の施策に反映させる。						
<b>事業概要</b> (5行程度以内。別添可)	本事業は、既存住宅の改修前と改修後の診断に基づくエネルギー消費性能に着目した評価法を確立するため、①住宅・設備機器の年代別の調査と類型化及び改修情報の収集、②住宅のエネルギー消費量検討モデルの作成、③住宅のエネルギー消費性能評価法の全体開発及び診断を含めた評価法に必要な情報の整備、④改修効果の検証方法、という大きくは4つの項目で構成される。初年度(平成22年度)は、①について、既存戸建て住宅及び集合住宅の調査と住宅プランの類型化を行い、さらに、関連する省エネ改修技術に関する調査及び改修ならではの適用範囲について次年度以降、省エネ効果の算定に繋げるための調査を行った。						
<b>実施方法</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他						
<b>予算額・執行額</b> (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求
		補正予算	-	-	-	-	-
		繰越し等	-	-	-	-	-
		計	-	-	13	14	-
	執行額	-	-	13	-	-	
	執行率(%)	-	-	99.8%	-	-	
<b>成果目標及び成果実績</b> (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値(年度)
	定量的な成果目標を示すことができない。		成果実績				
	(理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施の成果が現れるのは、事業完了後となるため。		達成度	%			
<b>活動指標及び活動実績</b> (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込
	定量的な活動指標を示すことができない。		活動実績(当初見込み)				-
	(理由)本事業は技術研究開発であり、箇所数、件数、人数等で事業の進捗を表すことができないため。					( )	( )
<b>単位当たりコスト</b>	単位当たりコストを示すことができない。		算出根拠				
	(理由)本事業は技術研究開発であり、事業実施中において定量的な成果実績や活動実績を示すことができないため。						
平成23・24年度予算内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由			
	職員旅費	1	1				
	試験研究費	13	13				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	-	-	-				
	計	14	13				

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	・外部有識者による評価委員会において「研究の背景を踏まえた研究の必要性」等に関する『事前評価』を受け、国総研が実施すべきという評価を得た上で研究に着手している。
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ・使途・費目	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	・支出先(業務請負者)選定の妥当性については第三者機関である技術提案評価審査会により審議していただいている。 ・業務着手時には業務計画書の提出を求めるとともに、打合せや完了時に行う検査により業務の実施状況及び成果を把握している。 ・業務の主たる部分に係る再委託は禁止している。また、主たる部分以外の再委託は、軽微なものを除いては、再委託承諾申請を求めている。本事業においては、再委託承諾申請を要する再委託はない。
	—	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績・成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	・事業開始前に外部有識者による「効率性(研究の実施方法、実施体制)」、「有効性(成果の見込みと活用方針)」等の評価項目に関する『事前評価』を受けている。 ・事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関する『事後評価』を受けることとしている。
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	○	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<ul style="list-style-type: none"> <li>・外部有識者による評価委員会において「必要性(研究の背景を踏まえた研究の必要性)」、「効率性(研究の実施方法・体制の妥当性)」、「有効性(研究成果の見込みと成果の活用方針)」に関する『事前評価』を受けたうえで研究に着手している。</li> <li>・本事業は、外部有識者による「事前評価」において、国総研が実施すべき課題であると評価されている。</li> <li>・また、事業終了後には「当初の目標に対する達成度」、「研究成果と成果の活用方針」等の評価項目に関し、外部有識者による『事後評価』を受けることとしている。</li> <li>・業務発注にあたっては、あらかじめ検討項目、調査対象範囲等について所内審査を行っている。</li> <li>・支出先の選定については、価格競争や企画競争により競争性の確保に努めている。</li> <li>・また、委託先の選定にあたっては第三者機関である技術提案審査委員会による審査を行うこととしており、的確な予算の執行に努めている。</li> </ul> <p>【前回の指摘を踏まえた執行上の改善点】 指摘無し</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善 ② ⑤		事業効果の検証やコスト削減の取組について、全研究共通の取組を述べるのみでは不十分。個々の研究ごとの取組と成果をレビューの中で具体的に明らかにすること。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
<p>本事業により得られる成果は「エネルギーの使用の合理化に関する法律の住宅事業建築主の判断の基準」に反映予定であり、現在、成果達成に向け研究を進めている。また、年度末に、当該年度の研究成果や成果の活用状況(見込み含む)について所内評価を行い事業効果を検証するとともに、価格競争や企画競争により競争性・透明性を確保する。</p>			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			
—			

※平成22年度実績を記入



**資金の流れ**  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位：百万円)

費目・使途  
 (「資金の流れ」  
 においてブロックごとに最大の  
 金額が支出されている者につ  
 いて記載する。費  
 目と使途の双方  
 で実情が分かる  
 ように記載)

A.(株)岩村アトリエ			E.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸経費	3			
人件費	業務担当者人件費(年代別既存住宅の躯体・設備性能、省エネ改修技術の調査)	2			
その他	技術経費	2			
その他	直接経費	0			
その他	消費税	0			
計		8	計		0
B.(株)市浦ハウジング&プランニング			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
その他	諸経費	2			
人件費	業務担当者人件費(集合住宅の省エネ改修事例、改修動機に関する調査)	1			
その他	技術経費	1			
その他	直接経費	0			
その他	消費税	0			
計		4	計		0
C.			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
計		0	計		0

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)岩村アトリエ	既存住宅の躯体・設備の省エネルギー性能及び改修技術に関する調査	8	随意契約 (企画競争)	95.8%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)市浦ハウジング&プランニング	既存集合住宅の省エネルギー改修の動機及び事例に関する調査	4	随意契約 (企画競争)	99.0%
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					